

評価対象事業		評価者	観光課長 中澤 準	
市民-11	観光運営事業	☒ 自治事務	主管課	観光課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(2) 観光	施策の方針	6-(2)-①観光振興の推進

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基本計画の推進を図るとともに、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。 次期第4期鎌倉市観光基本計画策定に向け、計画策定に係る骨子の作成を行った。 各種協議会に参加し、関係自治体等との連携を図った。
--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 （主な経費等）	指標（単位）	令和6年度		令和7年度	達成度	
				指標（実績値／目標値）		指標（目標値）		
				事業費（決算／当初）（千円）		予算額（千円）		
01	鎌倉市観光基本計画 推進委員会運営事務	観光基本計画の推進	—	— / —	—	—	—	
				390 / 510	510	510		
02	第4期観光基本計画 策定支援業務	第4期観光基本計画 の策定	—	— / —	—	—	—	
				21,246 / 21,952	13,376	13,376		
03	各種協議会等参加	広域観光の情報発信 や情報交換等	—	— / —	—	—	—	
				1,190 / 1,190	1,040	1,040		
04	一般事務経費	消耗品、ソフトウェア 使用料	—	— / —	—	—	—	
				138 / 209	372	372		
05				/				
				/				
06				/				
				/				
07				/				
				/				
08				/				
				/				
09				/				
				/				
		財源 内訳	国県支出金	2,500 / 5,000				
			地方債	/				
			その他特定財源	/				
			一般財源	20,464 / 18,861	15,298			
			事業費の合計（千円）		22,964 / 23,861	15,298		
			人件費（千円）		15,797	16,748		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	2.3	2.3	1.3	1.3	1.8	1.8
会計年度任用職員	0	0	0	0	1	1

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎌倉市観光基本計画推進委員会運営事務	指標の設定なし 推進委員会の運営については、指標の設定が難しいため。	観光施策の根幹である観光基本計画の進行管理を行う委員会を運営することは、観光振興を推進していく要素として妥当である。	関係する団体等との調整及び進行管理が課題である。
02	第4期観光基本計画策定支援業務	指標の設定なし 目的が時期基本計画の策定であり、成果指標の設定になじまないため。	観光基本計画の策定は、市の観光施策の方向性を示すものである。	令和6、7年度の2か年の事業
03	各種協議会等参加	指標の設定なし 一般事務経費であるため。	加盟している各協議会において広域連携を行うことで、本市の観光振興の推進に寄与している。	負担による費用対効果を最大化し、本市の観光振興を促進させるよう連携を強化していく。
04	一般事務経費	-	-	-
05				
06				
07				
08				
09				
10				

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 ○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 観光基本計画推進委員会における市民委員

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 ☐ 拡充 ☐ 改善・変更 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止・廃止
令和8年度を初年度とする第4期鎌倉市観光基本計画策定に向け、令和6年度は計画策定に係る骨子の作成を行ったが、令和7年度は基本計画の完成及び実施計画の策定に取り組んでいく。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	観光客の満足度						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	88.5	89.0	89.0	89.5	89.5	90.0	
	実績値	81.0	88.0	86.5	87.0	85.0		
	達成率	91.5%	98.9%	97.2%	97.2%	95.0%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数(上段:令和5年・下段:令和4年)単位:千人							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市	川崎市	箱根町
他市実績	12,284	19,608	8,911	853	4,709	54,291	15,726	19,510
	11,958	17,002	7,953	750	4,210	42,345	15,082	17,360

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	県内全市町村が実施している入込観光客数調査において、鎌倉市は県内5番目であるが、面積は4市よりも小さいことから、他市に比べて観光客が密集していることが伺える。
--------------------------	---